

- ☆平和行動in沖縄
- ☆第25回参議院議員選挙
- ☆大野もとひろ候補予定者と政策協定調印/
連合関東ブロックとろうきんとの取り組み
- ☆労働委員会/もうすぐ選挙/8月の行動予定表
- ☆あけぼのビル

いくさゆ
戦世を繰り返さぬために
平和を願う気持ちをつないでいく

平和行動in沖縄2019

6月23日(日)~6月25日(火)に平和4行動のスタートである「平和行動in沖縄」が開催され、全国から1,274名が集結した。連合埼玉からは浅見副会長を団長に構成組織、地域協議会、執行部、女性委員会、青年委員会より18名の参加となった。

6月23日の「平和オキナワ集会」では、冒頭、相原事務局長より「政府は一度立ち止まり、県民に寄り添う姿勢をみせていただきたい」と挨拶があり、その後「他国地位協定調査について」と題し、沖縄県知事公室基地対策課の鳥袋秀樹氏より講演をいただいた。講演では、米軍の駐留に対するドイツ・イタリア・ベルギー・イギリスと日本との地位協定や国内法の適用比較報告があり、日本が駐留軍に対して国内法を適用できてない現状を理解できた。6月24日はあいにくの天気となったがピースフィールドワークを実施し、日本本土を防衛する防波堤として、20万人以上が犠牲になった戦争跡を目で見て肌で感じる事ができた。74年前の惨劇と非人間性の実相を多くの仲間に伝えていく。

平和行動 in 沖縄 2019

「語り継ぐ戦争の実相と恒久平和を実現しよう」

日程

1日目
(6/23)

■2019平和オキナワ集会

と き 14:45~17:00

場 所 沖縄空手会館

内 容 第1部

基調講演: 他国地位協定調査について

講師: 鳥袋秀樹

沖縄県知事公室基地対策課調査班長

第2部 平和式典

2日目
(6/24)

ピースフィールドワーク

内 容 南風原文化センター・沖縄陸軍病院南風塚

→ 平和祈念公園 → ひめゆりの塔・資料館

→ 旧海軍司令部壕



参加者

浅見 明良 (連合埼玉副会長)
 兎澤 誠一 (自動車総連/八千代工業労働組合)
 高畑 和広 (JAM埼玉/日本精工労働組合埼玉支部)
 杉山 響 (JP労組埼玉連絡協議会)
 新山 元子 (運輸労連/ヤマト運輸労働組合埼玉支部)
 本多 隆 (運輸労連/関東通運労働組合)
 渡辺 達也 (川越・西入間地域協議会/マーレフィルターシステムズ労働組合)
 村田 真人 (朝霞・東入間地域協議会/新日本無線労働組合)
 矢島 規雄 (比企地域協議会/日立AMS労働組合埼玉支部)

大塚 健司 (西部第四地域協議会/ソーシン労働組合)
 五十嵐和則 (東部地域協議会/凸版印刷労働組合秋葉原支部幸手分会)
 斎藤 昭博 (東部地域協議会/東京電力労働組合春日部支部)
 須野原 徹 (北埼玉地域協議会/曙プレーキ工業労働組合羽生支部)
 鶴谷 一仁 (連合埼玉執行委員/情報労連)
 高島 栄 (連合埼玉執行委員/全農林埼玉分会)
 笠原 梢 (女性委員会/全農林埼玉分会)
 岡 勇介 (青年委員会/帝都ゴム労働組合)
 小林 孝徳 (連合埼玉副事務局長)

①平和行動に参加したのは何回目ですか? ②感想



浅見明良

①2回目

②沖縄戦では20数万人の尊い命が奪われ、女性や子供の非戦闘員の集団自決など、悲惨な事態も発生したという。南風原文化センター・沖縄陸軍病院南風原壕は、展示を見て当時の壕に入れば、野戦病院の息苦しくなるほどの臨場感が湧きあがる。平和祈念公園の埼玉の塔へ豪雨のなか献花し、戦没者の安らかなることを祈る。平和祈念資料館、ひめゆりの塔・資料館は、沖縄戦の実相として写真・動画、証言や遺品などが展示され、目を背けなくなる悲惨すぎる戦争があった。私たちは、沖縄戦の歴史の真実を直視し学び、風化させることなく伝えなければならない。



高畑和広

①2回目

②改めて戦争の悲惨さを痛感した。当時の写真、映像、資料等を見て悲しさや怒り、虚しさ・辛さが胸を突き刺さる思いになった。国の為というだけで命を捧げて亡くなっていった事。現代の平和な日本では考えられない事だ。沖縄では一般市民を巻き込んでのアメリカ軍との地上戦が行われた地であり幼い子供から女性まで多くの命が奪われた。こんな悲しい事が有ったなんて…。今回学んだ事や感じた事を訴えていき、少しでも平和な世界になるよう微力ながら貢献していきたいと思う。



平和オキナワ集会



参加者のみなさん



渡辺達也

①初めて

②一番衝撃だったのは南風原壕の見学だった。当時の病院は人力で掘った壕の中に設置されていたとの事。人が並んで歩けない程の狭い洞窟内に木の簡易2段ベッドを設置。日毎に増す負傷者に治療も追いつかず、悪臭漂う中、麻酔なしで手術も。実際の壕内に入って見学したが、ジメジメした薄暗い中で当時のことを思うと数分で息がつまり、鳥肌が止まらなかった。“暗い歴史を後世に”。二度と繰り返してはいけない。



兎澤誠一

①初めて

②日本国土の中で唯一地上戦になった場所だけに壮絶な戦いのあとが今でも残っていた。特にひめゆり学徒隊については兵隊さんを助けるために毎日働き続けた結果、いきなりの解散宣言により米軍が身近に迫っている中、自分達だけで逃げる事しかできずに集団自決に追込まれたそう。私にもひめゆり学徒隊と同じ世代の娘がいるが、今のこと同じような事をしたかっただろうなと思うと胸が苦しくなった。戦争の後遺症はまだ沖縄には残っていて忘れてはいけない、絶対に繰り返してはならないと強く思った。



杉山響

①初めて

②高校の修学旅行以来の沖縄だったが、前回と違って学べる事がたくさんあった。年月が経っても戦争の後は消えないのと米軍基地の現状。沖縄の語り手がいなくなってしまうこと。様々なことを学びました。また、こういう事に参加する事によって、いろいろな人と出会いがあり、様々な意見を聞いたことはたいへんためになった。次回もこのような機会があれば参加したいと思った。



新山元子

①4回目

②74年前の太平洋戦争、沖縄に上陸した米軍と日本軍の激しい地上戦により20万人の尊い命が奪われ更に自然豊かな沖縄が無残な姿に変えてしまった。今の平和な日本を守って行く為に二度と戦争が起きない、起こさない様に1人でも多くの方々、次の世代に語り繋いでいかなければならないと身にしみて感じた。平和である事に感謝し、そして、1日1日を大切に生き、戦争のない平和な日本、世界が続く様に平和行動を通して行く事が大切だと思った。



本多隆

①初めて

②青い空、青い海、白い砂浜を想像していたが、どしゃ降りだ灰色の沖縄だった。その中で始まったピースフィールドワーク。私が最も衝撃的で忘れられないのがガンマ20号である。当時、あの暗闇、泥や臭い、そしてひめゆり学院生がどのような思いだったのかと思うと心が痛くなってくる。平和行動in沖縄に参加させて頂いて、改めて平和の素晴らしさを感じ、戦争の無い平和な日本にしていきたいと思う。



村田真人

①3回目

②沖縄陸軍病院南風原壕を訪れ、薄暗い壕の中において戦争で負傷した兵士の方々が麻酔もほとんどない状態で、足や手を切断するなど、治療と言えないような処理をされていた。また、壕を放棄して糸満へ移動する際には、動けない重症患者に対して牛乳に毒を混ぜて渡すなど、常軌を逸した状況であったそう。この壕での話一つをとっても戦争がどれだけ悲惨なものであるかわかると思う。このこと私たちが次の世代にしっかり伝えるべきだと感じた。



矢島規雄

①初めて
②初日の平和オキナワ集会では現在の米軍基地による事件・事故、辺野古の問題等、大きな課題を確認し、二日目のピースフィールドワークでは、沖縄戦争の悲惨な状況を目の当たりに知ることが出来た。特に「ひめゆり平和祈念資料館」では、かつての惨状の中で生き抜いた女性たちの、当時の貴重なお話を伺うこともできた。今回の平和行動において、あらためて「平和・戦争とは」を考える良い機会となった。



大塚健司

①3回目
②沖縄戦での軍人と民間人を合わせた戦死者は20万人を超える尊い命が奪われたと聞いた。ひめゆりの塔で死と隣り合わせの恐怖に怯えながらの避難や救護は想像を絶するものだったと思う。核兵器はもとより戦争が無くなり、同じ過ちを二度と繰り返さないよう、そして世界中の人々が尊重し合い平和な世の中になるよう平和記念公園で祈った。



五十嵐和則

①3回目
②ピースフィールドワークで訪れた資料館や戦跡では、沖縄の歴史を知り学んだ。日本で唯一地上戦をおこなった沖縄だが、語り部も含め、戦後74年が経過して沖縄戦当時のことを実際に経験している方が益々少なくなっている中、絶対に風化させてはならないと改めて思った。この経験を自分の周りの人に発信していくことで、平和や命の尊さを伝えていかなければと強く感じた。



斎藤昭博

①4回目
②関東では、ほとんど報道されない沖縄慰霊の日。本当にこれで良いのか?改めて、不発弾処理が70年以上かかるのではないかと、未だ戦争は終結していないことを感じた。太陽と海の島は、もう一つの側面で基地の島でもあること、未だ進展しない日米地位協定の問題等を職場・地域で伝えていかなければならないと思った。今回の平和行動で、平和であることに感謝し、その平和を守るため、一日一日を大切に生き行動していく事を誓った機会となった。



須野原徹

①初めて
②高校の修学旅行で一度沖縄を訪れ、今回社会人になって改めて訪れることとなった。沖縄陸軍病院南風原壕では、天候が雨であったこともあり戦争当時この高い湿度と雨水が床を流れる中で兵士が治療行為を受けたこと、また、それに携わった当時ひめゆり学徒だった方の体験談を聞くと、戦争というものものの悲惨さをより感じる事となった。今回入った壕もあと10年保存できるかどうかと聞き、今後どうやって後世に語り継いでいくかの岐路にあると感じた。



国際通りをデモ行進



南風原文化センターを見学



鶴谷一仁

①3回目
②今回のこの行動を通じて、改めて戦争の悲惨さを感じた。今なお、この沖縄には、全国の米軍基地の約70%が集中している現実や米軍基地の移転問題、米兵による事件・事故、更にはアジア諸国近隣の核問題など深刻な問題が山積みである。特に基地問題は、沖縄だけの問題ではなく日本全体の問題でもあると改めて感じた。この国が戦争に向かって行く事の無いよう、改めて平和の尊さ、大切さを広めていきたいと思う。



高島栄

①4回目
②戦争というもの、これほど残忍でこれほど汚辱にまみれたものはないと強く感じた。軍隊は、足手まといとなる住民のことは決して守ってくれないという事実をフィールドワークで巡った南部戦跡は語り続けている。この歴史の事実を沖縄だけの問題と片づけるのではなく、日本全体の問題と捉え、「戦争のない平和な生活」は絶対に譲れないものとして後世に語り継いで行く重要性を強く感じた平和行動となった。



笠原梢

①初めて
②平和行動in沖縄へ初めて参加をし、一番感じたことは、このような悲惨な結果を生む戦争は繰り返してはいけないということだ。「慰霊の日」の当日は、珍しく雨だった。平和オキナワ集会やフィールドワークなどに参加させていただき、貴重な経験をさせていただいた。この平和行動を通し、沖縄戦の惨さと戦争の悲惨さについて知ることができ、この事実は決して歴史の中に埋もれさせてはいけないと感じた。



岡勇介

①初めて
②ピースフィールドワークにて、沖縄陸軍病院南風原壕群を見学した。壕内は真っ暗で幅と高さがなく、狭くて地面がガタガタしており、前かがみで歩く状態だった。このような環境で、戦争の負傷者が次々と運ばれ、まともな治療もできず負傷者のわめき声やウミヤウジがわいていたり臭気がひどい中、女学生が看護していたようだ。全く罪の無い尊い命を奪ってきた戦争は、二度と犯してはいけない過ちだと深く認識した。今回、平和行動に参加できたことにより、戦争の歴史や悲惨さを生で感じた。貴重な経験や体験ができたので、改めて平和の尊さを次世代に語り継ぎ、風化させることないよう継承していきたい。

第25回参議院選挙

くまがい裕人氏当選果たす！

7月21日(日)に第25回参議院選挙の投開票がおこなわれた。全国では立憲民主党は比例区で8議席、選挙区で9議席、合計17議席を確保し改選前の9議席から8議席増やした。非改選と合わせて32議席となり、第2党を守った。国民民主党は比例区・選挙区ともに各3議席で、合計6議席を獲得したが改選前の8議席から2議席減らした。非改選と合わせて21議席となった。一方、与党(自民党と公明党)は71議席を獲得し改選前の78議席から7議席減らしたが、非改選と合わせて141議席となり参議院の過半数123議席を超えた。また、与党に日本維新の会などを加えた「改憲勢力」の議席は、前回の参議院選挙で憲法改正の国会発議に必要となる3分の2議席を超えたが、今回は3分の2に届かなかった。



熊谷参議院議員と近藤会長



街宣行動(7月7日・大宮駅)



出発式



出陣式(7月4日・大宮)



応援演説(7月4日・大宮駅)



雨の中での応援演説(7月4日・浦和駅)

埼玉県選挙区では、連合埼玉としてはこれまでの参議院選挙では1名の推薦候補者にしほり取り組んできたが、今回初めて所属政党の異なる2名の候補者を推薦した。結果は、立憲民主党のくまがい裕人氏が53.6万票・得票率19.26%で当選、国民民主党のししどちえ氏が24.4万票・得票率8.78%で惜敗した。前回の参議院選挙では大野もとひろ氏を推薦し取り組んだ。所属政党(民進党)も候補者も推薦した人数も異なるため単純な比較はできないが、大野氏の得票67.6万票に対し、くまがい氏とししど氏2名で獲得した得票は78万票となり約10万票のプラスとなった。

全国比例区では、立憲民主党比例枠で8議席獲得し連合組織内候補は5名全員が当選した。国民民主党比例枠では3議席獲得し連合組織内候補5名中3名が当選した。全国での立憲民主党投票総数は791.8万票、国民民主党投票総数は348.1万票で、これも単純に比較はできないが、前回の参議院選挙で民進党での得票総数1175万票に対し、両党での得票総数の合計は1139.9万票となり、わずかに減らす結果となった。

今回の選挙戦では構成組織・加盟組合および地域協議会の役員・組合員の皆さんに、連合および連合埼玉推薦の候補者当選に向け昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたことに心から御礼申し上げます。

第25回参議院議員選挙開票結果

■埼玉県選出議員選挙区

()内は前回2016年結果

	男	女	計
有権者数	3,049,782	3,071,239	6,121,021
投票者数	1,438,705	1,406,342	2,845,047
投票率(%)	47.17(52.52)	45.79(51.36)	46.48(51.94)

候補者氏名	年齢	政党	新旧	得票数	得票率	当落
古川 俊治	56	自由民主党	現	786,479	28.25%	当選
くまがい 裕人	57	立憲民主党	新	536,338	19.26%	当選
矢倉 かつお	44	公明党	現	532,302	19.12%	当選
伊藤 岳	59	日本共産党	新	359,297	12.90%	当選
ししど ちえ	41	国民民主党	新	244,399	8.78%	落選
沢田 良	39	日本維新の会	新	204,075	7.33%	落選
佐藤 恵理子	33	NHKから国民を守る党	新	80,741	2.90%	落選
さめじま 良司	64	安楽死制度を考える会	新	21,153	0.76%	落選
小島 一郎	48	幸福実現党	新	19,515	0.70%	落選

■比例代表選出議員選挙

		得票総数	得票率	政党等の得票数	名簿登載者の得票数
立憲	埼玉県	578,880.361	20.79%	523,438.000	55,442.361
	全 国	7,917,719.945	15.81%	6,697,707.000	1,220,012.945
国民	埼玉県	145,141.731	5.21%	96,864.000	48,277.731
	全 国	3,481,053.400	6.95%	2,174,706.000	1,306,347.400

■比例区組織内候補者(名簿登載者の得票数、得票率)

候補者氏名	年齢	新旧	埼玉県		全 国		当落	
			得票数	得票率 (政党別)	得票数	得票率 (政党別)		
立憲	岸 真紀子	43	新	2,443.000	4.41%	157,848.000	12.94%	当選
	水岡 俊一	63	元②	733.000	1.32%	148,309.000	12.16%	当選
	小澤 雅仁	53	新	6,798.000	12.26%	144,751.000	11.86%	当選
	吉川 沙織	42	現②	5,830.000	10.52%	143,472.000	11.76%	当選
	森屋 隆	52	新	8,062.600	14.54%	104,339.413	8.55%	当選
国民	田村 麻美	43	新	11,978.000	24.81%	260,324.000	19.93%	当選
	磯崎 哲史	50	現①	12,337.000	25.55%	258,507.000	19.79%	当選
	浜野 喜史	58	現①	7,495.712	15.53%	256,928.785	19.67%	当選
	石上 俊雄	57	現①	5,516.635	11.43%	192,586.679	14.74%	落選
	田中 久弥	60	新	4,341.797	8.99%	143,467.942	10.98%	落選

大野もとひろ候補予定者と政策協定調印

7月24日、連合埼玉は今年8月におこなわれる埼玉県知事選挙に出馬予定の大野もとひろ候補予定者と「政策協定書」調印式をおこなった。連合埼玉では、すでに6月に大野もとひろ氏の推薦を決定していた。

冒頭、近藤会長より「埼玉県は、少子高齢化・人口減少に伴う労働力不足など、私たち働く者を取り巻く環境は、スピードを上げながら刻一刻と、また大きく変化をしてきているということでは、『これまで通り』、『当たり前』が通用しない、その様な時代になってきている。

すべての県民が将来に希望と安心を持てる埼玉県を目指し、これまでの当り前の常識や前提にとらわれることなく、候補予定者が言われているパラダイムシフトを考慮しながら、これまでの国政における経験を県政にも活かしていただきたい。連合埼玉として、全力で大野さんの勝利に向け、精一杯活動を展開していく」とあいさつがあった。

この後、政策協定書に調印した後、大野候補者より働く者、生活者の立場に政策が実現されるように取り組んでいきたいとの必勝決議があった。



調印式



大野もとひろ氏と近藤会長

可処分所得向上と将来不安払拭のために

連合関東ブロックと中央労金との連携による取り組み

連合関東ブロック連絡会は2017年度から中央労働金庫と連携し「可処分所得向上と将来不安払拭にむけた取り組み」を進めています。2018年の取り組みの結果、可処分所得向上総額が約191億円（埼玉は約17億円）となるなど大きな成果を上げることができました。2019年度においても、連合埼玉は中央労金埼玉県本部と連携し、下記の取り組みを進めます。

連合埼玉の取り組み

基本取組① カードローン問題に対する取り組み

銀行カードローンの実態に関するセミナーの開催や、組合員を対象としたアンケートを実施します

基本取組② 将来不安の払拭に向けた取り組み

組合員に対するライフプランの世話役活動として、積立提案や金利上昇リスクなどについて情報提供をおこないます

補強取組① 大会議案書への掲載

構成組織・加盟組合は、労働者自主福祉運動について大会議案書等において活動方針とし、運動の維持・発展をはかります

補強取組② 金融リテラシーの向上

組合員を守るための消費者教育を含む金融リテラシー（金融に関する知識・判断力）の向上について、啓発活動・情報発信を行います

中央労金埼玉地区営業店の取り組み

- セミナーを通じて、「銀行カードローンの実態」をお伝えする事で多重債務・過剰債務の未然防止に繋がります
- アンケートの結果に応じて、ろうきんローンへの借り換え等をご提案し、組合員の可処分所得の向上を図ります

- 組合員のライフプラン実現に向け、積立を中心とした資産形成を提案します。特に若年者に対して、まずは財形貯蓄・エース預金等で着実に貯蓄する仕組みを作り「生活基盤の安定」と「将来のライフステージへの備え」に繋げる必要性を伝えます

- 営業店は、労働組合と連携し、大会議案書等で方針化された労働者自主福祉運動の具体的行動を計画・実行し、組合員の生活安定、生活向上に繋がります

- 営業店職員が講師となり、労働組合のニーズに沿ったセミナーを積極的に開催し、組合員の金融リテラシー向上に繋がります
 - ・ 階層別・年代別にライフプラン全般をテーマとしたセミナー
 - ・ テーマ別セミナー（住宅取得・資産運用・年金・クレサラ）

職場でのトラブル解決を労働委員会がお手伝い

埼玉県労働委員会は、公労使三者構成により中立・構成的な立場で、あっせん[※]や不当労働行為の審査をして、労働者(労働組合)と使用者(会社など)とのトラブル解決のお手伝いをしています。連合埼玉からは、5名の労働者委員のうち4名の役員派遣をしており、現在も活躍していただいています。

埼玉労働委員会よりお知らせ

労使トラブル 円満な解決のお手伝いをします

「解雇・雇止め」「労働条件の見直し」「パワハラ」など労働者と会社のトラブルでお困りのことはありませんか。県労働委員会が中立・公平な立場であっせんを行い、トラブル解決をお手伝いします。手続きは簡単・無料、秘密厳守です。どうぞご利用ください。

問い合わせ 埼玉県労働委員会事務局 TEL 048-830-6452

※「あっせん」とは…労働組合と使用者との間で、紛争を自主的に解決することが困難な場合に、あっせん員が双方の話し合いを取り持ったり、主張を調整したりして、解決のためのお手伝いをします。申請は労使どちらからでも可能です。また、労働組合に加入していない場合には、「個別的労使紛争のあっせん」を利用することができます。

もうすぐ選挙

小川町議会議員選挙

▶井口 亮一(いぐち りょういち)67才(無・現3・連合埼玉推薦4回目)
告示日:2019年8月20日(火) 投票日:2019年8月25日(日)

現在予定される8月の日程表です

8月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 木		
2日 金		①埼玉労福協「理事会」(9:00～こくみん共済coop埼玉推進本部) ②県央地域協議会「第7回幹事会」(18:30～上尾東武ホテル)
3日 土	ネット21「山の学校inときがわ」(ふれあいの里たまがわ)	
4日 日	平和行動in広島(～6日・広島県)	①連合関東ブロック連絡会「幹事会」(12:00～京王プラザホテル多摩) ②連合関東ブロック連絡会「第34回連合関東ブロック・中央ろうきん協力会議」(15:00～京王プラザホテル多摩)
5日 月		
6日 火	①第9回四役・執行委員会(10:00～13:00～ときわ会館) ②第3回役員推せん委員会(12:30～ときわ会館)	
7日 水		
8日 木	平和行動in長崎(～10日・長崎県)	①秩父地域協議会「第9回幹事会」(18:00～勤労者福祉センター) ②埼玉県知事選挙告示日
9日 金		
10日 土		
11日 日		
12日 月		
13日 火		
14日 水		
15日 木		
16日 金		
17日 土		
18日 日		
19日 月		
20日 火		第4回構成組織・地方連合会「広報・教育担当者会議および講演」(11:00～17:15・連合会館)
21日 水		①埼玉労福協「地域労協代表者会議」(13:00～こくみん共済coop埼玉推進本部) ②埼玉労福協「政策制度会議」(15:00～こくみん共済coop埼玉推進本部) ③北埼玉地域協議会「第6回幹事会」(18:30～羽生市民プラザ地下)
22日 木		
23日 金		
24日 土	組合役員教育プログラムスキルアップ⑩(13:00～あけぼのビル501)	
25日 日		①埼玉県知事選挙投票日 ②関東ブロック「2019地協活動推進会議」(～26日・千葉形成ホテル)
26日 月		さいたま市地域協議会「第6回幹事会」(18:30～ネット21大宮)
27日 火		①連合関東ブロック連絡会「幹事会」(12:00～連合会館) ②地方連合会事務局長会議(13:30～連合会館)
28日 水	組合役員教育プログラムスキルアップ⑩(10:00～あけぼのビル501)	
29日 木	2019地域フォーラム(13:30～16:30・ソニックシティ4F)	
30日 金		
31日 土	①組合役員教育プログラムスキルアップ⑩(13:00～あけぼのビル501) ②埼玉シニア連合「第8回ボウリング大会」(10:30～浦和スプリングレーンズ) ③青年委員会「第8回幹事会」(10:30～秩父赤谷温泉 ネクストオジカ) ④青年委員会「ユースラリー」(～9/1・秩父赤谷温泉 ネクストオジカ)	

Akebono Building
あけぼのビル

事務局長 | 佐藤 道明 |

◆自・公で改選議席の過半数

7月4日公示・7月21日投開票でおこなわれた第25回参議院選挙は、改選議席124議席中(選挙区74議席、比例代表50議席)、自民・公明両党で71議席を獲得、改選議席の半数62を超えたが、自公と憲法改正に前向きな日本維新の会の「改憲勢力」では、改憲発議に必要な参議院の3分の2(164)を割り込んだ。

連合は、今次選挙を「政権交代可能な二大政党的政治体制の一翼を担う勢力構築の足がかり」と位置づけ、働く者や生活者の立場に立った政治勢力の拡大に向けて取り組みを展開してきた。とりわけ、これまでになく難しい対応が迫られる中で、立憲民主党、国民民主党とは与党を利さないことを前提に政策協定を締結し、組織力を最大限に結集し得る環境整備に注力した。

しかし、比例代表の組織内候補者は10名中8名の当選、選挙区の推薦候補者は44名中18名の当選にとどまり、連合が掲げた勢力構築の足がかりとは言い難い結果となった。

自民党は改選66議席に届かなかったものの、選挙区38、比例代表19の計57議席と3年前の実績を超え、公明党は7選挙区に擁立した候補者全員が当選し、比例と合わせ過去最多だった前回の14議席に並んだ。

全体の勝敗を左右する全国32の改選数1の「1人区」では、5野党1会派で候補者調整をおこない選挙戦に臨んだが、獲得議席は同様の試みをおこなった前回の参議院選挙の11議席を下回る10議席にとどまった。

立憲民主党は改選議席の倍に迫る17議席(選挙区9、比例8)に伸ばし、野党第1党の地位を確立した。一方、国民民主党は選挙区3、比例3の計6議席にとどまり、明暗が分かれた。今回の選挙では、立憲民主党と国民民主党が獲得した議席は、3年前に民進党が獲得した32議席を下回る23議席となった。

共産党は選挙区3、比例4で改選議席を1減らした。日本維新の会は初めて東京、神奈川で勝利するなど選挙区で5議席を獲得、比例でも5議席を積み上げ、改選7を上回った。社民党は比例で1議席を死守し、得票率2%による政党要件も維持し、前党首が国政復帰を果たした。山本太郎氏が率いるれいわ新選組は比例で2議席を獲得。NHKから国民を守る党も1議席を得て、ともに政党要件を満たした。既存野党に不満を持つ層の一定の受け皿となったとみられる。

◇埼玉県の選挙結果

定数が3から4になった埼玉選挙区では、連合埼玉が推薦した立憲民主党「くまがい裕人」候補と国民

主党「ししどちえ」候補が、厳しい選挙戦を最後まで戦い抜いた。くまがい候補は53万6338票(得票率19.26%)を獲得し2位当選を果たした。ししど候補は24万4399票(得票率8.78%)で5位となり当選は叶わなかった。

自民党候補は78万6479票(得票率28.25%)で1位当選、公明党候補は53万2302票(得票率19.12%)で3位当選、共産党候補は35万9297票(得票率12.90%)で4位当選、日本維新の会候補は20万4075票(得票率7.33%)で6位落選。

比例代表選挙では、自民党が87万3762票(得票率31.39%)で前回に比べ0.9ポイントの微減。連立を組む公明党は40万3601票(得票率14.50%)で1.5ポイントの減。立憲民主党は57万8880票(得票率20.79%)を獲得、国民民主党は14万5141票(得票率5.21%)を獲得した。共産党は29万3786票(得票率10.55%)で3.39ポイント減らしている。日本維新の会は20万3663票(得票率7.32%)、れいわ新選組は13万2831票(得票率4.77%)であった。

◇低迷する投票率

選挙区(全国)の投票率が48.8%と過去2番目の深刻な低水準となる中、埼玉選挙区の投票率は46.48%(男47.17%、女45.79%)で、2016年の前回(51.94%)を5.46ポイント下回った。1992年7月の37.94%、1995年7月の38.92%に次いで、過去3番目に低い投票率となった。

与党には、有権者の半数も投票に行かない中で得られた結果に驕ることなく、数の力に任せた国会運営などを改め、多様な民意を尊重した健全な民主主義政治を強く求める。一方、野党は、今の政治を変えたいと強く願う有権者の期待に応えるだけの受け皿を示すことができたのかを真剣に問い直す必要がある。今後、野党は強い危機感のもと大局的な見地から戦略を検討しなければならない。

選挙は、有権者が自ら日本の将来を選択する重要な機会である。それにもかかわらず、今回の選挙でも投票率は低位を脱することはなかった。与野党は、国民の政治への関心や信頼をこれ以上損なわないためにも、人口減少・超少子高齢社会を迎える日本が直面する諸課題に真剣に向き合わなければならない。連合も厳しく政治をチェックするとともに、引き続き健全な議会制民主主義と働く者・生活者のための政策実現に向けて力強く政治活動を推進していく。

選挙戦序盤から、報道各社による厳しい情勢が報じられたにもかかわらず、連合推薦候補の当選に向け、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたすべての構成組織・単組・支部・分会、地域協議会の役員・組合員の皆様に心から御礼を申し上げる。

2019.7.24